

慶應義塾大学 理工学部学生対象 2021年6月~8月/8月~9月

SAF海外大学 サマーセッション短期留学

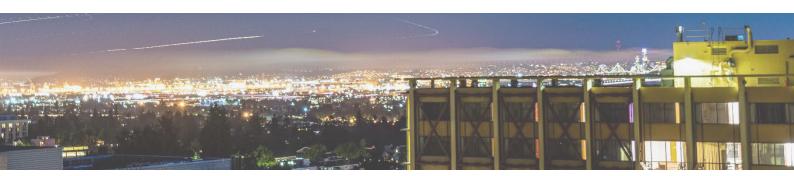


アメリカ 名門大学での学部授業履修プログラム

University of California, Berkeley University of California, Los Angeles University of California, Santa Barbara SAF海外大学サマーセッション短期留学プログラムは、慶應義塾大学理工学部と SAF日本事務局が協同で開発した、理工学部のための留学プログラムです。







SAFスタディ・アブロード・ファウンデーションについて

本プログラムを運営する The Study Abroad Foundation (SAF) は、アジアの大学生の留学を促進するた めに活動している米国の非営利教育財団です。慶應義塾大学とSAFは2006年に協定を締結し、2019年までに 670名を超える塾生を海外の大学での1学期・1年間の留学プログラムへ送り出しています。

本プログラムでは、理工学部生の履修計画や将来の計画に合う留学の機会を提供するために、米国の名門大学 であるカリフォルニア大学系列校のサマーセッションへ理工学部の学部生を派遣しています。

SAFによるサポート体制

参加学生はSAFより、留学先大学選び・出願準備・渡航前準備に関するアドバイスを受けることができます。 また、出願手続き、滞在先の確保、留学中の24時間体制のトラブル対応をSAFが行いますので、安心して留学準備や 勉強に集中することができます。

留学前

▶ 専門のアドバイザーによる個別相談:

希望に合った留学プラン、留学までの具体的な準備

留学先大学

▶ 出発準備のサポート:

滞在先手配、出発前オリエンテーション

(留学に必要な語学力、GPA、予算)

早めに個別相談を受けて、 必要な準備を進めましょう

留学経験者の先輩や、一緒に留学する 仲間とのつながりが生まれます

ビザ申請書類の入手、学生ビザサポートサービス紹介、航空券手配のための旅行会社紹介

滞在先

など

留学中

SAF米国本部

万全の連携体制

SAF日本事務局

保険会社

留学生24時間 危機管理サービス

現地日本 大使館など

留学後

- 学内手続きのサポート
- ➤ SAF説明会、SAF Alumni Association(同窓会)イベントへの参加

SAF海外大学サマーセッション短期留学プログラム

世界のレベルを知り、グローバルに活躍するためのステップとなる留学プログラムです。

サマーセッション 短期留学 慶應義塾大学での勉強や研究

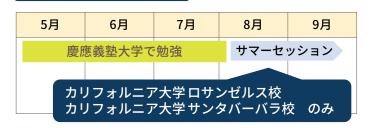
グローバル企業での活躍

海外大学院への進学

海外の研究者との共同プロジェクト、 海外での学会、海外でのインターシップ

夏季休校期間(8~9月中旬)や4学期制度の2学期目(6~7月)を利用して留学することができます。

夏季休校期間のみを利用



夏季休校期間 & 4学期制度を利用

5月	6月	7月	8月	9月
慶應義塾	ン			
大学で 勉強	サマーセッション			
		サマーセ	ッション	

アメリカ西海岸の名門大学 カリフォルニア大学での学部授業履修

サマーセッション中に開講されている大学の授業を履修するプログラムです。サマーセッションの授業は、3~12 週間という短い期間ですが、通常の学期中と同じ内容・量の授業となっており、学部の単位を取得することができます。現地の学生のみならず多くの留学生が世界中から参加しているため、様々な国籍の学生と肩を並べて一緒に勉強することが可能です。



過去の学生が履修した授業(例)

- Quantum Mechanics
- Electronic Techniques of Engineering
- Electrical and Electronic Circuits
- Fluid Mechanics
- Introduction to Biostatistics
- Introduction to Engineering Thermodynamics
- Introduction to Feedback and Control
 Systems: Dynamical Systems Control I
- Introduction to Oceanography
- Python Fundamentals for Data Science
- Evolution
- Statistics



※記載の出願要件・期間・費用は2020年度のプログラム情報に基づきます。

今後発表される2021年度のプログラム情報は変更になる可能性があるのでご注意ください。 最新情報は下記URLよりご確認ください。

「大学一覧表」: http://japan.studyabroadfoundation.org/apply_now/keio_science.php

カリフォルニア大学バークレー校 / University of California, Berkeley

アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレー ◇学生数: 約35,000人



カリフォルニア大学群で最も古い歴史を持つ。現在に至るまで ノーベル賞受賞者を70名以上輩出しており、世界屈指の名門校として知られる。

世界大学ランキング 13位 THE World University Rankings 2020

出願要件: GPA 3.0 TOEFL iBT 80 / IELTS 6.5 / TOEIC 685 ※GPAは交渉可能なケースがあります。詳細はお問合せ下さい。

① セッションB: 6月8日~8月14日(10週間)/8単位 ② セッションC: 6月22日~8月14日(8週間)/6単位 ③ セッションD: 7月6日~8月14日(6週間)/5単位

◎費用:約US\$8,520.00-12,580.00 【約894,600-1,509,600円】

※費用は期間・滞在形式・履修科目によって異なります。 ◎滞在形態:学生寮/アパート(3人部屋もしくは4人部屋)

◎食事形態:<学生寮>食費(Standard Meal Plan、約12食/週)含む、<アパート>食費は含まない



カリフォルニア大学ロサンゼルス校 / University of California, Los Angeles

◇所在地: アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス ◇学生数: 約40,000人

世界大学ランキング 17位

THE World University Rankings 2020

カリフォルニア大学群で最も学生数が多い最大規模の大学で、 UCLAの名称で知られている。バークレー校に並ぶ世界の名門大学であり、 米国の代表的な研究拠点の一つ。

出願要件: GPA 2.85-3.00 TOEFL iBT 79 / IELTS 6.5 / TOEIC 690 ※GPAは交渉可能なケースがあります。詳細はお問合せ下さい。

① セッションA: 6月22日~8月28日(10週間)/8単位 ② セッションA: 6月22日~8月14日 (8週間) /8単位 ③ セッションA: 6月22日~7月31日(6週間)/8単位 ④ セッションC: 8月3日~9月11日(6週間) /8単位 ⑤ セッションA+C: 6月22日~9月11日(12週間)/16単位

⑥サマー・インテンシブ・スタディーズ: 8月3日~8月21日 (3週間) /4単位 ~5単位

◇2020年度開講授業◇ ※履修要件有

A: 有機分子の構造(CHEM 14C: Structure of Organic Molecules)/4単位

B: 有機化学III: 反応性、合成、生体分子(CHEM 30 C: Organic Chemistry III: Reactivity, Synthesis, and Biomolecules)/4単位 C: 生理学とヒューマンバイオロジー(LIFESCI 7C: Physiology and Human Biology)/5単位

◎費用:①~⑤約US\$8,550.00-13,570.00 【約897,750-1,628,400円】

⑥約\$5,370.00【約565,000円~645,000円】

パブリック・アイビーの内の1校として知られる名門公立大学。

工学、物理・化学工学・材料工学の研究は全米の中でもトップレベル。

※費用は期間・滞在形式・履修科目によって異なります。

◎滞在形態:学生寮 ◎食事形態:食費(約11食/週)を含む (2人部屋もしくは3人部屋)



カリフォルニア大学サンタバーバラ校 / University of California, Santa Barbara

◇所在地: アメリカ合衆国カリフォルニア州サンタバーバラ ◇学生数: 約22,000人

世界大学ランキング 57位 THE World University Rankings 2020

出願要件:GPA 2.7 TOEFL iBT 80* / IELTS 6.5* ※語学試験にはセクションごとの要件があります。

① セッションA: 6月22日~7月31日(6週間)/6単位 ② セッションB: 8月3日~9月11日 (6週間) /6単位 ③ セッションC: 6月22日~8月28日(10週間)/6単位 ④ セッションA+B: 6月22日~9月11日(12週間)/12単位

◎費用:費用:約US\$9,960.00-18,100.00 【約1,045,800-2,172,000円】

※費用は期間・滞在形式・履修科目によって異なります。



◎滞在形態:学生アパート(3人部屋もしくは4人部屋) ◎食事形態:食費(Standard Meal Plan、約10食/週)を含む

2020年度後期の説明会・個別相談スケジュール

日にち	時間	実施方法
2020年10月12日(月) 2020年10月29日(木)	【説明会】 12:15-13:00 (帰国生による体験談を含む予定)	Onlineにて実施 ※ <mark>要予約制</mark>
2020年11月11日(水) 2020年12月2日(水)	【個別相談会】 13:00-/13:45-/14:45-/15:30-/16:30- (1人45分の事前予約制)	Onlineにて実施 ※ <mark>要予約制</mark>

◆説明会・個別相談会の予約方法◆:下記メール送付後、担当者から当日使用するZoom URLが返信されます

【宛先】: keio-st@studyabroadfoundation.org

【件名】:慶應義塾大学サマー ○○月 🗶 🗶 日の説明会/個別相談会予約

【メール本文】: ①氏名(フリガナ) ②所属学科 ③学年 ④個別相談希望枠(第二希望まで)※希望者

⑤携帯番号 ⑥その他質問

留学までの流れ

• 個別相談

※上記以外の日についても、オンラインにて個別相談を随時実施 (平日10:00-18:00 / 1人60分程度の事前予約制) 下記QRより予約可能

出願準備(~12月)

まずは説明会に参加!

• TOEFL/IELTS/TOEIC受験

• 学内手続きに関する確認

出願 (2~4月)

留学準備

出発 (6~8月)

出発前オリエンテーション

(計2回・参加必須)

【出願締切】(予定 推奨締切/出願締切)

- ・カリフォルニア大学バークレー校:2月1日/3月13日
- ・カリフォルニア大学ロサンゼルス校(6月開始):2月1日 / 4月1日
- ・カリフォルニア大学ロサンゼルス校(8月開始):2月1日 / 4月27日
- ・カリフォルニア大学サンタバーバラ校:4月1日 / 4月27日
- ※締切日は2020年度の情報を参考としており、2021年度は変更となる可能性があります。

早めに情報収集をして 必要な準備を把握しましょう

※全て必須

出願ガイダンス出席 (12月動画配信予定)

• 出願書類の準備

◆個別相談の予約の取り方◆

【申込方法】 Webお問合わせフォーム 【必要事項】 希望する個別相談の日時(時間帯)を

第3希望までお知らせください



お問い合わせフォームへのリンク

【重要】慶應義塾大学内の手続きについて

<サマーセッションへの出願前に行うこと>

- ・SAFで個別相談を受け、出願を希望する場合は以下を行う。
 - 1. 慶應義塾大学理工学部学生課学事担当で学内の手続きについて確認する。 (※1年次で応募する場合、日吉学生部理工学部担当者に相談すること。)

慶應義塾大学理工学部による海外留学奨励金

慶應義塾大学理工学部による「国際人材育成資金・基金」の海外留学奨励金へ申請できる可能性があります。 申請資格や申請方法の詳細等については、「理工学部学生課国際担当」に確認してください。

矢上キャンパス25棟1階 / [TEL] 045-566-1468 / [Email] <u>ic-yagami@adst.keio.ac.jp</u> [国際担当HP] <u>https://www.st.keio.ac.jp/students/ic/scholarship/kj.html</u>

留学体験談

サマーセッション短期留学プログラムに参加後、多くの学生が海外の大学院や慶應義塾大学大学院に進学し、 グローバルに活躍しています。これまでに参加した学生の体験談・後輩の皆さんへのメッセージを紹介します。

大穂 亮介さん (システムデザイン工学科)

留学先大学/期間: University of California, Los Angeles / 2019年8月~9月(6週間)



Q1.留学生活を通して強く印象に残ったことについて教えてください。

強く印象に残っていることは授業スタイルです。履修した2つの授業で、先生は学生が発言する 時間を惜しみませんでした。学生は当然のように授業中に手を挙げて質問しますし、Academic Reading and Writingの授業では、学生に自分の意見を発言するように先生は強く要求していま した。この点は日本での授業との最も大きな違いだと感じました。

毎日のように通った大学の図書館

O2. 留学経験は、その後どのように活かされていますか?

日ごろのニュースや流れてくる情報を批判的な視点をもって捉えるように心がけています。何もかもすぐ 鵜呑みにするのではなく、自分の経験をもとに考えてみたり、気になったことは調べてみたりしています。 また、人に何か説明するときは論理構成を考えて相手に分かりやすいように話すことを心がけています。 将来的には、多様な文化を受け入れる力と英語力をもって、海外でも活躍できる人材になりたいと考えて

O3. 後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

説明会などのOB・OGの体験談で、「海外の大学院への進学を視野に入れていてその足掛かりとして参加 した」といった声を聞く方も多いかもしれませんが、海外への進学を考えていなくても参加する意義は十 分にあると思います。百聞は一見に如かず、ということわざがありますが、実際に海外で学んだことで、 自分の世界観や物事の考え方が一気に広がりました。日本ではなかなか経験できないことがたくさんある と思います。迷っている方はぜひ参加してみてはどうでしょうか。



サンタモニカにて

菅 琢哉 さん (情報工学科)

留学先大学/期間: University of California, Berkeley / 2017年6月~8月(10週間)

Q1. 留学生活を通して強く印象に残ったことについて教えてください。

この留学中は、今までの人生のなかで最も自分の夢に向かって前進しているな、と思い続けていました。寮での生活、クラス、課題、 遊び、など日常の一つ一つの全てが自分の将来の為のトレーニングになっていると感じながら生活していました。他の国から来た留学 生とレンタカーを借りてシリコンバレーのFacebook本社に乗り込んだり、クラスメイトと協力して授業のプロジェクトに取り組んでい る際に、こんな風に国境を超えて協力して世界の最先端に飛び込んでいくことが自分の本当にやりたいことだ、と思って没頭したあの 感覚を今でも覚えています。人間関係について言えば、異文化・異言語の人間同士が短期間でこんなに仲良くなれるとは正直思ってい ませんでした。寮とクラスの友達は英語に苦しむ私にもすごくオープンに接してくれて、本当にその友達たちがこの留学を楽しいもの にしくれたといっても過言ではありません。その一方でこっちから英語で伝えられなかったことも多く、悔しい思いもありました。

O2. 留学経験は、その後どのように活かされていますか?

まずなんといっても英語によるコミュニケーション能力の向上です。今では英語で人と話すことや発表・質疑応答することに関して、 自分でも驚くほど怖さを感じなくなりました。そして留学していたことにより、研究室や部活、バイトで周りから、言うなれば"グロー バル人材"的な期待がされるようになりました。そういったなかで、留学中を通して得た英語力や異文化コミュニケーションの経験をも とに、外国の人と関わらないといけない場面ではある程度リーダーシップを発揮することができているのではないかと思います。その 他にも、日本に来た外国の人に積極的に寄り添ってサポートしたいと思うようになりました。私もアメリカで言葉や文化の違いによる 辛さを体験し、そんな時に友達がフレンドリーに助けてくれた経験が沢山あったので、私も日本で留学生と積極的に関わり、日本人と のコミュニケーションをサポートしたり情報を提供したりする姿勢が身についたと思います。この留学は、自分は日本国内という枠を 超えて何かをすることに興味がある、と確かめるきっかけになったのではないでしょうか。留学したあの3ヶ月の思い出は今も将来の ための努力のモチベーションになっています。



バークレーの街を見渡せる山の上のブランコで

O3. 後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

大学院生や社会人になってから留学するパターンもありますが、 個人的には学部時代という特別な時期に留学して海外の学部生と 交流できたのはラッキーだったと思います。サマーの間の、しか も3ヶ月だけですが、それでもアメリカのカレッジライフを経験で きたのは大きかったです!お金はもちろんかかりますが、もしご 両親などが支援してくれるのであれば、迷わず行くことをお勧め します。絶対に自分の学部生活を自慢できるぐらい特別なものに してくれます。



寮 (Unit 2)で一番仲よかった友達と

野城 菜帆さん (機械工学科)

留学先大学/期間: University of California, Los Angeles / 2017年8月~9月(6週間)

O1. どうしてSAF海外大学サマーセッション短期留学に参加しようと思いましたか?

将来アメリカの大学院に進学、およびアメリカをはじめとした海外で就職することを考えていたからです。それにあたって、短期留学 を通じて海外で勉強するということはどういうことなのかを知るため、このサマーセッションに参加しました。

02.印象に残っている授業や先生について教えてください。

一番印象に残っているのはLab-Mechanicsの授業です。3時間の実験を週2回で行う授業で、私以外全員現地のUCLA生でした。 実験自体の難易度はそこまで高くはありませんでしたが、日本語でも読みこむのに時間がかかる実験書を英語で読んだり、レポートを 書いたりするのは非常に苦労しました。そして何より周囲が現地生のため採点が厳しく、最初のレポートで文法だけで20点以上引か れたときは心が折れそうになりました。

そんな中でもなんとか友人やTAに食らいつき、必死で勉強したことは今思い返せば一番成長した時間だったように思います。そのおかげでレポートの回数を重ねる度に文法ミスが減り、採点してくれたTAに最後に努力を褒めてもらえた時はとても嬉しかったです。

03. 留学経験は、その後どのように活かされていますか?

留学経験で得たことは大きく分けて2点あります。

1点目は、選択肢が広がったことです。想像通り勉強は大変でしたが、その分得られるものは多かったように感じます。諸々考えた結果、修士課程は慶應に残ることにしましたが、その先のことは海外も視野に入れるようになりました。

2点目は自分の価値観について考え直すことができたことです。海外の学生に囲まれて勉強したり、現地で働いてる方々のお話を聞く中で、自分が良いと思うもの、なりたい姿について大いに考えることができました。

04.後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

短期の留学は意味があるのかどうか、疑問がある方もいらっしゃるかと思います。しかしたとえ短期であったとしても、目標をもって きちんと行動すれば非常に意義あるものになります。まずは自分が留学を通して何を得たいのかをしっかりと考え、そのうえで挑戦す ることを決めたのならば、留学先で必死で取り組むことをおすすめします。そうすればこの留学がかけがえのない経験になるはずです。



UCLAで21歳の誕生日を迎えた私と、 祝ってくれたルームメイト



JPL_NASAの見学に行った際に 撮影した写真

佐伯 唯さん (情報工学科)

留学先大学/期間: University of California, Berkeley / 2018年6月~8月(10週間)

Q1. どうしてSAF海外大学サマーセッション短期留学に参加しようと思いましたか? 短期の語学留学とは違い、10週間かけて専門科目の授業を履修できるというところに魅力を感じました。

短期の語学留学とは違い、10週間かけて専門科目の授業を履修できるというところに魅力を感じました。また、単位振替なども可能であるため、授業期間に留学することによる負担が少ないと考えたからです。

02. 印象に残っている授業や先生について教えてください。

The Foundations of Data Scienceの授業の進め方が印象に残っています。データサイエンスに関しては今まで全く学習したことがなかったのですが、授業では初歩の初歩から説明が始まり、演習の授業では実際に問題をみんなで解いて解説を聞くという時間があったため最後まで非常にわかりやすく学ぶことができました。また、先生やTAに気軽に質問できる掲示板のようなアプリが存在しており、わからないこともすぐに解決することができてとても便利でした。



サマーセッションでの授業でデータサイエンスという学んだことがない分野に 英語で挑戦し、良い成績を取ることができたということで自分に自信がつきま した。また、全く違う文化と交流できたことで自分の中の世界が広がり、物事 を考える時の視野が広がったように思います。今後はこのサマーセッションで 培った英語力を武器に海外の学会での発表にも挑戦したいと考えています。

04.後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

この留学は、留学してみたけど語学の授業だけでなく専門科目の授業も受けてみたい、でも卒業が遅くなるのは嫌だという人にうってつけのプログラムだと思います。行って損することは絶対に無いので、迷っている方は挑戦してみることをお勧めします。



サンフランシスコにて



寮のイベント:ハイキング









米国非営利教育財団

SAFスタディ・アブロードファウンデーション日本事務局

慶應義塾大学 理工学部学生対象 SAF海外大学サマーセッション短期留学 詳細はこちらから▶

